

# Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) 1.1.3 リリースノート

---

初版 : 2020 年 7 月 6 日

最終更新 : 2020 年 7 月 31 日

## Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) 1.1.3 リリースノート

このドキュメントでは、Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) 1.1.3 の機能、制限およびバグについて説明します。

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

- [はじめに \(2 ページ\)](#)
- [新機能、拡張機能、および要件 \(2 ページ\)](#)
- [リリース日 \(2 ページ\)](#)
- [互換性に関する情報 \(2 ページ\)](#)
- [Cisco Crosswork データゲートウェイ \(Cisco Crosswork Data Gateway\) 1.1.3 の機能および拡張機能 \(6 ページ\)](#)
- [使用上のガイドラインと重要な注意事項 \(8 ページ\)](#)
- [Cisco Crosswork データゲートウェイ \(Cisco Crosswork Data Gateway\) 1.1.3 の既知の問題と制限事項 \(9 ページ\)](#)
- [Cisco バグ検索ツール \(9 ページ\)](#)
- [オープンソース \(10 ページ\)](#)
- [関連資料 \(10 ページ\)](#)
- [アクセシビリティ機能 \(10 ページ\)](#)
- [マニュアルを入手してサービス リクエストを送信する \(11 ページ\)](#)

## はじめに

Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) は、モデル駆動型のスケーラブルなデータ収集プラットフォームであり、マルチプロトコル対応デバイスからのリアルタイムのデータ収集を可能にするため、ネットワークからのデータを必要とする複数のアプリケーションの複数の収集ポイントの必要性が軽減されます。

Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) はスタンドアロン製品ではなく、次の Crosswork オプションのいずれかを使用して導入する必要があります。

1. Crosswork Cloud (Crosswork Trust Insights および Crosswork Network Insights)
2. Crosswork On Premise アプリケーション (Crosswork Change Automation and Health Insights、Crosswork 最適化エンジン)

Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) は、データを収集するサービスと収集されるデータのタイプを一元的に可視化します。Crosswork アプリケーションとは別に、外部データの宛先 (外部の Kafka や gRPC サーバーなど) にフィードするためにも使用できます。

## 新機能、拡張機能、および要件

Cisco Crosswork Data Gateway 1.1.3 リリースで提供される新機能と拡張機能は次のとおりです。

- 1 つ、2 つ、または 3 つの NIC 構成で Cisco Crosswork Data Gateway を導入するオプション
- 3 つの vNIC で導入されたときに vNIC1 の MTU を変更するオプション
- SSH 接続をテストするオプション (クラウドのみ)

## リリース日

シスコは、必要に応じてシスコサポート & ダウンロードサイトで更新されたビルドをリリースします。

表 1: Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) 1.1.3 リリース日

バージョン	ビルド	ファイル名	日付
1.1.3	50	cw-na-dg-1.1.3-50-release-20200627.ova	2020-07-06

## 互換性に関する情報

- Cisco Crosswork Data Gateway 1.1.3 は、Crosswork On Premise アプリケーションと Crosswork Cloud アプリケーションの両方をサポートします。

- Cisco Crosswork Data Gateway 1.1.3 は、現在、単一の Crosswork アプリケーションで使用できます。アプリケーション (Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights および Cisco Crosswork Optimization Engine) を組み合わせて使用することを希望するお客様は、Cisco Crosswork Data Gateway の重複インスタンスを導入する必要があります。
- Cisco Crosswork Data Gateway リリース 1.1.3 は、次の Crosswork Cloud アプリケーションと組み合わせて検証されています。
  - Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights 3.2.2
  - Cisco Crosswork 最適化エンジン 1.2.1

次の最小要件を満たすホストに VM として Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) を導入できます。

表 2: Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) VM 要件

要件	説明
ハイパーバイザ	<ul style="list-style-type: none"><li>• VMware vCenter Server 6.7 Update 3g 以降 (ホストに ESXi 6.7 Update 1 がインストール済み)</li><li>• VMware vCenter Server 6.5 Update 2d 以降 (ホストに ESXi 6.5 Update 2 がインストール済み)</li></ul>
メモリ	32 GB
ディスク容量	50 GB
vCPU	8 vCPU

要件	説明			
インターフェイス	最小値：1 最大値：3  Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) 1.1.3 は、次の組み合わせに従って、1つ、2つ、または3つのインターフェイスのいずれかで展開できます。			
	組み合わせ #	vNIC0	vNIC1	vNIC2
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理トラフィック</li> <li>デバイスアクセストラフィック</li> <li>制御/データトラフィック</li> </ul>	—	—
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理トラフィック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デバイスアクセストラフィック</li> <li>制御/データトラフィック</li> </ul>	—
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理トラフィック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デバイスアクセストラフィック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制御/データトラフィック</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>管理トラフィック：UI とコマンドラインにアクセスし、サーバー間で（たとえば、Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights から Cisco Crosswork Data Gateway 間または NSO 間）制御/データ情報を渡すために使用されます。</li> <li>デバイスアクセストラフィック：デバイスの設定管理（KPI 設定またはプレイブックの実行の結果として NSO または Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights からデバイスに転送）および Cisco Crosswork Data Gateway に転送されるテレメトリデータ用に使用されます。</li> <li>制御/データトラフィック：Cisco Crosswork Data Gateway と Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights 間およびその他のデータ送信先間でのデータ転送および構成転送用に使用されます。</li> </ul>				

要件	説明
IP アドレス	<p>使用するインターフェイスの数に基づいて、1つ、2つ、または3つのIPv4/IPv6 アドレス。</p> <p>(注) Crosswork はデュアルスタック構成をサポートしていません。したがって、環境のアドレスはすべて IPv4 または IPv6 のいずれかである必要があります。</p>
NTP サーバ	<p>使用する NTP サーバーの IPv4/IPv6 アドレスまたはホスト名。複数の NTP サーバを入力する場合は、それぞれをスペースで区切ります。これらは、ネットワーク全体でデバイス、クライアント、およびサーバを同期するために使用する NTP サーバと同じでなければなりません。NTP IP アドレスまたはホスト名がネットワーク上で到達可能であることを確認します。到達可能でない場合、インストールは失敗します。</p> <p>また、Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights および Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) VM を実行する ESXi ホストには NTP が設定されている必要があります。そうでない場合、最初のハンドシェイクが「certificate not valid」エラーで失敗する可能性があります。</p>
DNS サーバ	<p>使用する DNS サーバーの IPv4/IPv6 アドレス。これらは、ネットワーク全体でホスト名を解決するために使用する DNS サーバと同じである必要があります。</p>
DNS 検索ドメイン	<p>DNS サーバで使用する検索ドメイン (たとえば、cisco.com)。検索ドメインは1つのみ設定できます。</p>
宛先ネットワーク	<p>実際の導入の場合、データネットワーク (Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights VM と Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) VM 間の接続) 用に1つの仮想スイッチを使用し、すべての管理トラフィック (vms から dns、ntp、およびアプリケーションへのアクセスと管理に使用するネットワーク間) 用に2番目の仮想スイッチを使用することをお勧めします。</p>

### テスト済みのシスコ OS



- (注) 次の表は、Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) 1.1.3 がテストされたソフトウェアバージョンのみを示しています。Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) を使用すると、カスタムパッケージを介してデバイスカバレッジを拡張できます (Cisco Crosswork Data Gateway の使用において該当するオンプレミスアプリケーションユーザーガイドの「カスタム ソフトウェアパッケージの管理」セクションを参照)。

OS	ソフトウェアバージョン (Software Version)	収集プロトコル	MDT エンコーディング
IOS-XR*	6.4.1、6.4.2、6.5.1、6.5.2、6.5.3、6.6.2、6.6.3、7.0.1	MDT CLI SNMP	KVGPB/TCP
IOS-XE	16.9.2、16.10、17.1.1	SNMP	NA
NX-OS	7.0(3).7(2)、8.4(0).SK(1)	CLI	NA

\* IOS-XR の NSO を介した MDT 設定の場合は、NSO XR NED 7.18.3 または 7.21 を使用します。

## Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) 1.1.3 の機能および拡張機能

このセクションでは、Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) 1.1.3 で提供される機能を一覧表示します。

機能	説明
<b>コレクタ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CLI</li> <li>• SNMP</li> <li>および SNMP トラップ</li> <li>• MDT</li> </ul>	複数のデータ収集方法をサポート： <ul style="list-style-type: none"> <li>• CLI ベースのコレクション</li> <li>• OID、MIB ウォーク、およびテーブルをサポートする SNMP v1.0、v2c、v3.0 コレクタ</li> </ul> また、SNMP トラップの処理を有効にします。 <p>(注)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• SNMP v2 および v3 は、トラップに対してのみサポートされています。</li> <li>• SNMP v3 トラップのサポートは、認証および権限なしに制限されています。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 次のトランスポートモードを使用したネットワークデバイスからの MDT ベースの収集：               <ul style="list-style-type: none"> <li>• TCP ダイアルアウトモード</li> </ul> </li> </ul>
<b>コレクションの最適化</b>	収集要求を最適化して、重複データの収集を減らします。

機能	説明
サードパーティ アプリケーションを介したネットワークデータへのアクセスに関する外部データ宛先サポート <ul style="list-style-type: none"> <li>• Kafka</li> <li>• gRPC</li> </ul>	Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) は、収集されたデータの外部データ宛先として使用される Kafka および gRPC サーバーをサポートします。
Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) と指定されたデータ宛先間の安全な通信	Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) を使用すると、指定されたデータ宛先 (Crosswork アプリケーションまたは外部 Kafka) との間の安全な通信を有効にできます。
カスタムポート経由での SCP サーバーへのアクセス	Cisco Crosswork Data Gateway では、デフォルトの SCP ポート 22 の代わりにカスタムポートを使用できます。 SCP コマンドの一部としてポートを指定できます。次に例を示します。 <code>-P55 user@host:path/to/file</code> 55 はカスタムポートです。
SNMP カラムウォーク	Cisco Crosswork Data Gateway では、TABLE 操作にテーブル OID または列 OID のいずれかを提供できます。
収集ジョブのモニタリング	Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) は、データを収集するサービスと収集されるデータのタイプを一元的に可視化します。
カスタムデバイスパッケージのサポート	カスタムデバイスパッケージを使用して、サードパーティのデバイスデータを収集できるようにします。3 種類のカスタムパッケージを展開できます。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. CLI デバイスパッケージ</li> <li>2. SNMP MIB パッケージ</li> <li>3. SNMP デバイスパッケージ</li> </ol>
コレクションバイタル	そのサービスのバイタルを公開し、Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) の全体的な状態を監視できるようにします。バイタルサインには、ベース VM のパフォーマンスメトリックと各インスタンスの到達可能性が含まれます。

機能	説明
負荷のモニタリング	Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) は、利用可能な帯域幅とパフォーマンスのレポートを提供します。これには、ネットワーク I/O、ディスク I/O、メモリ、および CPU 使用率が含まれます。
一元化されたロギング	外部の syslog サーバーを使用できます。
サードパーティ向けの CLI デバイスパックでのサポートの強化	サードパーティデバイスのサポートが強化されました。CLI の到達可能性は、カスタムデバイスパッケージを使用して、SSH、TELNET、SNMP、NETCONF などのさまざまなプロトコルを持つデバイスの到達可能性をチェックします。
1 つ、2 つ、または 3 つの NIC 構成での Cisco Crosswork Data Gateway の導入	次の組み合わせに従って、1 つ、2 つ、または 3 つの vNIC のいずれかを選択できます。 <ol style="list-style-type: none"> <li>vNIC0 を介してすべてのトラフィックを送信します。</li> <li>vNIC0 を介して管理トラフィックを送信し、vNIC1 を介してすべてのデータトラフィックを送信します。</li> <li>管理トラフィックを vNIC0 経由で送信し、サウスバウンドデータを vNIC1 経由で送信し、ノースバウンドデータを vNIC2 経由で送信します。</li> </ol>
3 つの vNIC で導入されたときに vNIC1 の MTU を変更するオプション	Cisco Crosswork Data Gateway には、3 つの NIC で導入するときに vNIC1 の MTU を変更するオプションがあります。
SSH 接続のテスト	Cisco Crosswork Data Gateway を使用すると、モートホスト間との SSH 接続をテストできます。

## 使用上のガイドラインと重要な注意事項

### Cisco Crosswork Data Gateway のインストール

Crosswork アプリケーション用の Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) をインストールおよび設定する方法については、それぞれのガイドを参照してください。

Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) をインストールするには...	参照...
Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights 3.2.2	Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights 3.2.2 インストールガイド



Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) をインストールするには...	参照...
Cisco Crosswork 最適化エンジン 1.2.1	Cisco Crosswork 最適化エンジン 1.2.1 インストールガイド

#### の使用Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway)

Crosswork アプリケーション用の Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) の使用方法については、それぞれのガイドを参照してください。

Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) の使用方法については...	参照...
Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights 3.2.2	Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights 3.2.2 ユーザーガイド
Cisco Crosswork 最適化エンジン 1.2.1	Cisco Crosswork Optimization Engine 1.2.1 ユーザーガイド

## Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) 1.1.3 の既知の問題と制限事項

以下は、Cisco Crosswork データゲートウェイ (Cisco Crosswork Data Gateway) の既知の問題、制限、および回避策です。

不具合 ID 番号	説明
なし。	

## Cisco バグ検索ツール

Cisco バグ検索ツールを使用して、特定のバグを検索したり、リリース内のすべてのバグを検索したりできます。

1. [Ciscoバグ検索ツール (Cisco Bug Search Tool)] <https://tools.cisco.com/bugsearch> にアクセスします。
2. 登録している Cisco.com のユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン (Log In)] をクリックします。

[バグ検索 (Bug Search)] ページが開きます。



(注) Cisco.com のユーザー名とパスワードをお持ちでない場合は、[ここで登録](#)できます。

3. 次のいずれかのオプションを使用してバグを検索し、Enter (リターン) を押して検索を開始します。
  - 特定のバグを検索するには、[検索対象 (Search For) ] フィールドにバグ ID を入力します。
  - 特定の基準に基づいてバグを検索するには、問題の説明、機能、または製品名などの検索基準を [検索対象 (Search For) ] フィールドに入力します。
  - 製品に基づいてバグを検索するには、製品リストから製品を入力または選択します。たとえば、**Cisco Crosswork Data Gateway** と入力します。
  - リリースに基づいてバグを検索するには、[リリース (Releases) ] リストで、特定のリリースに影響するバグ、特定のリリースで修正されたバグ、またはその両方を検索するかどうかを選択します。次に、[リリース (Releases) ] フィールドに1つ以上のリリース番号を入力します。
4. 検索結果が表示されたら、フィルタツールを使用して結果を絞り込みます。ステータス、重大度などでバグをフィルタ処理できます。



ヒント 結果をスプレッドシートにエクスポートするには、[Excelに結果をエクスポート (Export Results to Excel) ] リンクをクリックします。

## オープンソース

Cisco Crosswork で使用されるオープンソースソフトウェアのリストは、[Cisco Crosswork Data Gateway](#) で使用されるオープンソースにあります。

## 関連資料

関連するドキュメントについては、『[Cisco Crosswork Data Gateway 1.1.3 ドキュメントロードマップ](#)』を参照してください。

## アクセシビリティ機能

すべての製品マニュアルは、イメージ、グラフィック、および一部のチャートを除き、閲覧可能です。音声、点字、または大きな文字の製品マニュアルが必要な場合は、[accessibility@cisco.com](mailto:accessibility@cisco.com) にお問い合わせください。

## マニュアルを入手してサービス リクエストを送信する

マニュアルの入手、Cisco Bug Search Tool (BST) の使用、サービスリクエストの送信、追加情報の収集の詳細については、『[What's New in Cisco Product Documentation](#)』を参照してください。

新しく作成された、または改訂されたシスコのテクニカルコンテンツをお手元に直接送信するには、『[What's New in Cisco Product Documentation](#)』 [RSS フィード](#)をご購読ください。RSS フィードは無料のサービスです。

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。

リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

